

おおくら 議会だより



肘折幻想雪回廊



もくじ

| | |
|---------------|-------|
| 新年を迎えて | 2P |
| 12月定例会 | 3P |
| 一般質問 | 4~11P |
| ブレイクタイム | 12P |

風水にふれる里

第 **134** 号

2023.新春

発行 / 〒996-0212 山形県最上郡大蔵村大字清水2528番地
大蔵村議会 0233-75-2111
編集 / 議会広報常任委員会 年4回発行
発行責任者 / 議長 鈴木君徳
印刷 / 共栄印刷株式会社

年頭のごあいさつ



新年明けましておめでとうございます。三年ぶりに行動制限のないお正月を御家族お揃いでお迎えになったのではないのでしょうか。

本村議会活動におきましては日頃より格別の御支援と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて村の基幹産業である稲作においては、天候にも恵まれ平年並みとなりましたが、昨年より始まったロシアのウクライナ侵攻の為に輸入農産物、原油の高騰や、円安の進行などにより、肥料・飼料・生産資材・食料品等の大幅な高騰となり私達の生活もひっ迫しているのが現実です。一日も早く戦争が終結することを願わずにはいられません。また、新型コロナウイルス感染症は三年経っても今だに収束の目途は立っておらず、村民生活や社会経済活動に大きな影響を受けるなど様々な困難があった中、サッカーワールドカップにおいての日本代表の活躍は日本国民を元気づけた明るいニュースとなりました。

今後、地方行政はより一層厳しさを増すことになると思われれます。農業、産業振興、観光産業、少子高齢化、そして何よりも村の人口減少が一番大きな問題です。議員一人丸となって様々な問題、課題に対処していきたく思います。

最後に今年の干支は兔。兔は飛んで跳ねることから飛躍の象徴とも言われます。村民の皆様が大きく飛躍でき、幸多き明るい一年となりますよう心から御祈念申し上げます。年頭の挨拶と致します。

議長 鈴木君徳

本年もよろしく
願ひします。

| | | |
|-----|----|----|
| 議長 | 鈴木 | 君徳 |
| 副議長 | 海藤 | 邦夫 |
| 議員 | 長南 | 正一 |
| 〃 | 八鍬 | 信一 |
| 〃 | 矢口 | 智 |
| 〃 | 佐藤 | 勝 |
| 〃 | 加藤 | 忠己 |
| 〃 | 早坂 | 民奈 |
| 〃 | 佐藤 | 雅之 |
| 〃 | 齊藤 | 光雄 |

村民栄誉賞条例 設定される

12月定例会

12月定例会が8日から9日にかけて開催され、令和4年度補正予算6議案を含め、18議案を審議しました。

議案に先立ち7名の一般質問が行われ、農政、高齢者対策、産業振興策等に関して村当局の考えをたしました。

専決処分

◎令和4年度一般会計補正予算
(コロナ対策、各家庭に商品券配布、肥料高騰対策等)

条例等の改正

◆大蔵村民栄誉賞条例の設定
(村民に夢と希望活力を与え、本村の名を高めることに顕著な功績のあったものに対し、村民栄誉賞を贈呈することを定めたもの)

◆大蔵村職員の定年等に関する条例の改正
(公務員の定年を10年かけて段階的に引き上げて65歳に)

◆大蔵村一般職・特別職の給与一部改正
(人事委員会の勧告により給与、期末手当の改正を行うもの)

◆大蔵村職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
(職員の妻が出産した場合の育児休暇の延長を認めるもの)

◆大蔵村手数料条例・印鑑条例の一部改正
(マイナンバーカードの利活用促進に対応したもの)

令和4年度補正予算

★令和4年度補正予算7議案を審議・可決
(事業進捗による精算、変更、追加等が主)



村政を問う

一般質問
12月
定例議会



一般質問とは？

村政全般に対し議員が質問し、意見を述べ村政をただしていくもので、大蔵村では1議員の持ち時間が45分です。

昨年、11月28日村議会で、山形県衆院3区選出の加藤鮎子衆院議員、参院山形選挙区選出の舟山康江・芳賀道也両議員を訪ね、銅山川の河川・砂防施設の整備等4項目を要望してきました。

7議員が一般質問

5P

佐藤 勝 議員

○「農村集落調査廃止論」をどう思う。

6P

長南 正一 議員

○村道豊牧～里道線未改良区間の整備を望む

7P

加藤 忠己 議員

○肘折～新庄間、村営路線バスについて
○大蔵村運動公園のトイレの洋式化について

8P

佐藤 雅之 議員

○ガードケーブルの普及で安全確保を
○「働き方改革」や資材高騰の中での公共事業の発注方針は

9P

早坂 民奈 議員

○観光スポットの再考を

10P

矢口 智 議員

○村の未来を思い描きたい

11P

海藤 邦夫 議員

○高齢者にやさしい村作りを



佐藤 勝 議員

「農業集落調査廃止論」をどう思う。 村長 他町村と連携しながら対応

問1 農水省は5年に一度実施してきた「農業集落調査」を廃止すると提起した理由として「個人情報保護条例」により、個人情報の情報が得られにくくなったことや調査員不足、また、農協等へ調査の働きかけで、完遂したとしている。しかし、この調査は、中山間地域直接支払いや、集落の現状把握、防災や復興等に関する基礎的なデータになっており、調査の継続は絶対に必要である。

答1 「農業集落調査」とは、農林業構造統計を作成するため、5年に一度集落における寄り合いの回数、農業用施設の管理、自然環境の保全等を調査するもの

「調査方法を改善しても継続すべきである」としているが、農水省では「現状のままでの継続は難しい」と言っている。まだ決定した訳ではないが、既に各方面から調査の継続を求める署名活動や要望書を提出する動きが多くあるが、村長はどの様に考えているのか？

問2 この調査は、5年に一度となっているが、現在の農村に於ける5年は予測ができない位に崩壊に向かっている。集落の実態の把握、農地や国土の保全を考えた時、調査の継続は絶対に必要であり、村長自ら先頭に立ち、調査の継続や廃止に反対する意思を他町村に呼び掛けて行動する事こそ「日本で最も美しい村」に加入している意味

である。
農水省ではこの調査を「個人情報保護条例」により、農業集落事情の精通者を把握する事が困難になった事を理由に廃止の方針を提起している。また、この調査が国の農村や農業政策の重要な根拠となり、実施された評価に利用されているものであり、日本の農業農村地域の変遷の基礎資料である統計が途絶えることは、大きな損失になりかねないと危惧する。

答2 中山間の現状が直接国に届く道が遮断される事になる。今後、県や他市町村と連携しながら対応していく。あらゆる会議等の場で各市町村や県に対して問題を提示し、意思疎通を図っていく。その一例として、棚田への支援策などは大蔵村の意見を多く取り入れられている。又、この調査は役場を通して行っているのではなく、国が直接個人や組織に依頼していると聞いている。

問3 「水田活用直接交付金」は、過去5年間に水稲の作付けのない水田や、畑地化して作物を栽培した水田（転作）は交付の対象外とあるが、この場合、水稲の作付面積や出荷数量配分はどうなるのか？

答3 配分には影響しない。5年間に水稲の作付けがない農地は9年度以降交付金の対象外としているが、

野菜やそば等を栽培して交付金を受け取って来た農家には受け入れがたい事であり、又、この事で耕作放棄地が増え、離農に拍車をかける事がない様、積極的に国や県に要望していく。





長南 正一 議員

豊牧・里道線未改良区間の整備を 村長 国道接続部分の村道柳渚 線を優先

問 この路線は、村道土合・滝の沢線に接続する重要路線であり、一番の難所であった急カーブで狭隘な箇所について大規模な改良を実施していただき、幅員・法線ともに素晴らしい立派な道路になり、地元住民にとってこの上ない喜びと感謝の念でいっぱいである。しかしながら、入口と出口の部分で改良前の道路状態にあり、特に積雪の多い冬の間は見通しが悪く、通行車両の増大とも相まって危険な状態にある。

令和2年度に完成した道路改良効果を最大限引き出すためにも残りの部分について積極的な取り組みを実施し、社会資本の享受を図っていただきたい。

常に快適な車の通行があってこそ若者の定住にも繋がりが、さらに村営バスの循環線、スクールバスの運行上も整備が必要であり、山間地の上、豪雪地でもある当地域の交通事情をご賢察いただき、早期の全線改良

答 一部は未整備区間だが、一番の難所だったS字カーブ区間が直線道路となり舗装補修と同時に施工した側溝の蓋掛け、幅員の拡幅により路線全体として大変走りやすくなったと評価している。

本事業の着手当初は、社会資本整備総合交付金も要望通り採択され、補助金の裏財源として充当される地方債も要望の通り充当される状況でしたが、現在はこちらも要望通りに交付されるのが難しくなり、限られた財源を、優先順位を考慮しながら各事業に振り分けるという状況です。本路線の未整備部分についても将来的には対応すべきものと考えている。しかし、現段階では当地区から要望の村道柳渚豊牧線の国道接続部分の改良・雪崩対策工事に優先して限りある財源を充てたい。

当地域は、「棚田地域振興法」の指定地域であり、「つなぐ棚田遺産」認定地域でもある。今後、地域における関連事業が活発化するにより、交通量にも変化が生じるものと考え、村道里道線未改良区間の整備

備については、今後の交通量の状況を判断し、村道全体の整備計画の中で事業化について検討する。



加藤 忠己 議員

肘折〜新庄間、村営路線バスについて 村長 新病院開院に合わせて、バス停も移設したい

問1 平成29年4月より運行を開始した肘折〜新庄（県立新庄病院前）間の村営路線バスは、県立病院に通院する人や高校に通学する生徒らの「足」となっている。県立新庄病院は、現在移転・整備中であり令和5年10月に開院の予定となっている。開院時までに路線バスを新県立病院まで延伸する必要がある。新庄市との協議等も含め村長の考えを聞きたい。

答1 山交バスの運行時に比べ運賃を引き下げたこと

もあり、通学や通院等で利用する方が増えた。その後、新型コロナウイルス感染症の影響により、乗客数は落ち込んだが、今は少しずつ乗客数が戻り始めている。この路線バスは、特に交通弱者にとって生活に欠かすことのできない重要な交通手段。

現在、村営バス「肘折温泉新庄線」では、県立新庄病院が始点及び終点の停留所としており、やはり、通院等で利用する方が多く、利用者数が特に多い停留所となっている。新庄最上地

域の基幹病院である県立新庄病院に村営バスの停留所を設置することは、必要不可欠だと考えており、これまで同様、新病院の開院に合わせて、バス停も移設したい。

詳細については、現在、県立新庄病院や他の乗り入れバス事業者等と打ち合わせを進めており、ルートについては、新県立新庄病院への出入り口付近の国道13号に信号機が設置され、国道に安全かつスムーズに入り込めるようになったことから、山屋踏切のルートは使わずに、国道13号と若葉町アンダーを通るルート

で考えている。

この変更については、新庄市内でのバス停留所及びルートの変更であり、地方自治法により、本村議会及び新庄市議会での議決が必要となる。

大蔵村運動公園のトイレの洋式化について 村長 担当の教育委員会とも検討してみよう

問1 大蔵村運動公園入り口に設置されている「標識柱」の文字が薄くなっている部分がある。来春の公園や野球場利用時までに書き直しが必要ではないか。

答1 教育委員会でも案内看板の文字が薄くなっている部分を確認している。今後、野球場を訪れる村外の方にも確認しやすいように、補修を行う。

問2 大蔵村運動公園のトイレについて、主な利用者は野球場使用の選手や保護者だと思いが、家庭や学校でも和式トイレを使ったことがない子どもがいる。こ

の状況を踏まえ洋式トイレの設置が必要と思うが村長の考えはどうか。

答2 このトイレは、昭和62年の大蔵村運動公園の整備とともに設置した。その後、生活様式の変化とともに、各家庭でも洋式トイレの普及が進み、現在では、学校においても洋式トイレが普及している。利用者のほとんどが、スポーツ少年団や中学校のクラブ員に変化していることなどを考えると洋式トイレへの改修の検討は必要。担当課の教育委員会と検討したい。





佐藤 雅之 議員

ガードケーブルの普及で安全確保を 村長 これまで同様、耐雪型 ガードレールを採用

問 雪によるガードレールやガードパイプの破損、変形を目にする。道路幅員や冬期間の除雪の便宜、景観等であえて防護柵を設けていない村道もある。防護柵がなく危険だと思われる場所も多数ある。雪国で多く採用されている、ケーブル式のガードレールを普及して、冬期間は柔軟に撤去等もできる様にすれば、破損等の度に生じる修繕コストの低減を図りつつ安全の確保も追求できるのではないか。

答 道路を走ると破損したガードレールを目にする。昭和〜平成初期に設置されたガードレールは、非常に脆弱で、積雪による雪の重みによる支



カルデラ館手前 雪で破損するガードレール

「ガードケーブル」については、設置時に生じる経費が設計単価で耐雪型ガードレールの2倍の価格となり、春秋の取外し、取り付け等の経費など、設置費等と合わせると多額の経費を見込む必要がある。

耐雪型のガードレールも地形等により想定以上の加重がかかり破損する箇所も出るが、コストを比較した場合、耐雪型ガードレールを採用する方が有利と考える。

「働き方改革」や資材高騰の中での 公共工事の発注方針は 村長 国・県の発注形態や社会情勢を 見極め、より適正に発注

問 国は、賃上げや労働と生活のバランスなど、いわゆる「働き方改革」を進めている。公共事業を担う建設業界も当面猶予されている労働時間の残業規制が令和6年4月から適用され、週休二日制の導入も不可避となる。折からの物価高騰で資材等も値上がりするなか、経営が厳しくなることが予想される。公共調達は、より安く、より早く、より品質の良いものを望むのは当然としても、頻発する自然災害や豪雪への対応能力を持つ地元建設業界全体の発展には配慮が必要と考える。国も近年、適正な工期設定、施行時

期の平準化、適正な予定価格の設定、適切な請負代金の変更、価格転嫁、ダンピング対策の徹底などを打ち出している。国の方針も踏まえた、村長の公共事業発注の方針は。

答 村の発注工事は、山形県県土整備部が作成している「土木工事標準積算基準書」に則って作成され、積算に用いる単価についても、県が随時更新している土木関係設計単価を採用し、村独自の積算方式や積算単価を用いることはないため予定価格は適正価格と認識。ただし、昨今のウクライナ情勢や円安による物価上昇が激しく、設計図書完

成から発注までの時間差で、単価上昇などの状況も見受けられるので、極力その時間差をなくすことで回避したい。契約締結後の物価の上昇や人件費の高騰は、適正な設計変更により対応する。発注者と受注者が対等な立場で対応して行く。働き方改革について、国の直轄事業や山形県発注の工事においては、週休二日を考慮した発注形態の採用が進み、本村の発注についても、適正な工事期間を確保している状況。また、国土交通省が打ち出している働き方改革に関する方針についても具体的に組み込まれている。しかし、最終的に受注者側の意識が高くないと、働き方改革に繋がらない。労働基準法の経過措置の終了に向けて、法令に抵触することの無いようにしたい。働き方改革の推進は、村としてもその一端を担う義務があると認識している。厳しい発注条件での工事については、重大事故の発生や工事の品質に影響し、最終的に発注者側の不利益につながるようになる。今後、国や県の発注形態の動向や、社会情勢を見極めながら、より適正な発注を行ってゆく。

早坂 民奈 議員



観光スポットの再考を 村長 今ある資源の磨き上げ重視

問1 村内には多数の観光スポットが存在する。先日「鼻欠倉」がテレビで放映されたが、村民でさえ「知らない、名前だけは知っているが行った事は無い」そんな声も聞かれる一方、県外ナンバーの車も多く見かけられるようになった。それだけテレビの力は強く宣伝効果大である。しかしながら、路上駐車での眺めであり、せっかく宣伝して頂いたのだから、ビュースポットを整備しもっと多くの方々に村に来ていただける

答1 コロナ禍の出口が見えない中、他の観光地よりも肘折温泉を選択して頂く

ようにしてはどうか。また、隠れた名所、景勝地もあるはず、村民にアンケートを募り、新しい観光スポットを探すのも面白いのではないか。山しかないのではなく、この村だからこの景色が映える事を広く周知し、沢山の人が訪れ、満足して頂けるような観光スポットを織り込んだ新しいマップとビュースポット作りを提案する。

問2 肘折だけでなく、村内全域では清水城跡、発電所、男滝、女滝、ブナ林等多くある。村営バスを利用し日帰り旅行も考えてはどうか。

答2 村長 村内全体に目を向け、新しい形でのミニ周遊観光を全域でも考えていく。パンフレット、紹介立て看板、デジタル化の中でも整備していく。産業振興課長 観光客の客層が変わってきており、現状にあわせて対応していく。首都、仙台圏の要望に沿った観光を考える。村内ツアーは常設は出来ないが、単発的に企画していきたい。



鼻欠倉 初春





矢口 智 議員

村の未来を思い描きたい 村長 一定の目途が立った時点で

問 人口減少が著しくなってきた今の時代、将来の姿を想像すること程難しいものはないと感じてはいるが、これからの世代が少しでも安心して暮らしていくけるよう、道を示していく責任が私達にあると考えている。

答 施設整備の方針を村民に示し、広く意見を求めていくべきではないか。また、子育て支援として、住宅の整備に加えて宅地の整備も行ってきているが、これから先どう進めていくべきなのだろうか。新たな方針・施策を明示する必要。

村の公共施設を見てみると、役場庁舎の整備計画がようやく前に動き出している状況だが、その他の公共施設はどのようになっていくのだろうか。耐用年数を基にした更新時期を明示し、

らこそ村の未来を思い描き、村民に示し、問うていくことが重要と考えているが。

答 若い方々の村内の定住を促すためにも将来像を示すべきとのご意見ですが、私も同じ考えを持っており、令和という新しい時代とともに策定した第4次総合計画において、時代の変化や多様化する地域課題に対応した村づくりを総合的に進める指針を示したところで

また、村の公共施設についても、平成29年に公共施設等総合管理計画を定め、公共施設の現状と将来の見通しを示しています。施設毎の対応については「大蔵村個別施設計画」で、村が所有する公共施設のうち7施設の「建物」を対象に今後の方針を定めており、現在、庁舎建設のための基本計画を策定中ですが、一定のめどが立った時点で、個別計画の見直しを進めたい。

子育て支援対策関連としての宅地造成事業については、村としてもその必要性を感じています。子育て支援住宅の入居期限を迎える世帯が控えていることから、

その受け皿として今後の需要は、ある程度見込めるものと考えており、今後の経済状況を考慮しながら造成候補地の選定も含めて検討したい。



海藤 邦夫 議員

高齢者にやさしい村づくりを 村長 実効性のある支援体制を 構築

問 戦後生まれの団塊の世代が2025年に後期高齢者になり、村の人口に対する高齢化率が上がることが考えられます。若い時はなくてもなかった車の運転や農作業等も、足腰の痛み等も伴い身体の自由が思うようにいかなくなります。

ひとり暮らしの高齢者が増加し、冬季間の除雪作業もかなり苦労している人も見受けられる。また、屋根の雪下ろしは大変な重労働で、今後高齢者が増加し、ひとり暮らしの人が家も維

持できなくなる事も考えられます。ひとり暮らしの高齢者に対して集合住宅等も考えても良いかと思う。人生100年時代に高齢者に対して村ではどう対応していくか村長に伺いたい。

答 これまで社会を支えていただきました方々を、これまで暮らしてきた地域で、心配なく健康で過ごしていただきたいと思います。強く持つていますが、行政として行えることに限界があるとも考えている。

村として、今後も冬季期

間在宅で暮らす高齢者には、ひとり暮らし老人等の除雪扶助や安否確認のための巡回事業、また各地区で運営しているサロンなどで介護予防運動教室などを行い、心配なことなどを気兼ねなく相談できる体制を整え、専門機関などを交えながらより良い方向に導ける体制を充実していきたい。

高齢者の集合住宅も考慮すべきではあると考えますが、そこでも見守りや生活援助といった支援が必要ではないかと思われ、高齢者が独立して生活することに不安のある方が、安心して明るい生活の場を提供する施設として平成16年に開所した生活支援ハウス翠（みどり）の利用を考えていただきたい。

努力したいと考えている。誰もが生涯すこやかに、幸せに暮らせる地域を目指し、人生100年を見据え、村民の方々のご意見を伺い、実効性のある支援体制を構築していきます。





ブレイクタイム

ウクライナの国 その3

12月末の、大雪に伴う二日余りにわたる南山地域の停電は、住民に大きな被害をもたらしました。今の時代、電気が止まれば生活が成り立たなくなるのです。10年も前になる東日本大震災の時も、明かりのない寒い一夜を、大変な不安の中過ごしたことを思い出しています。

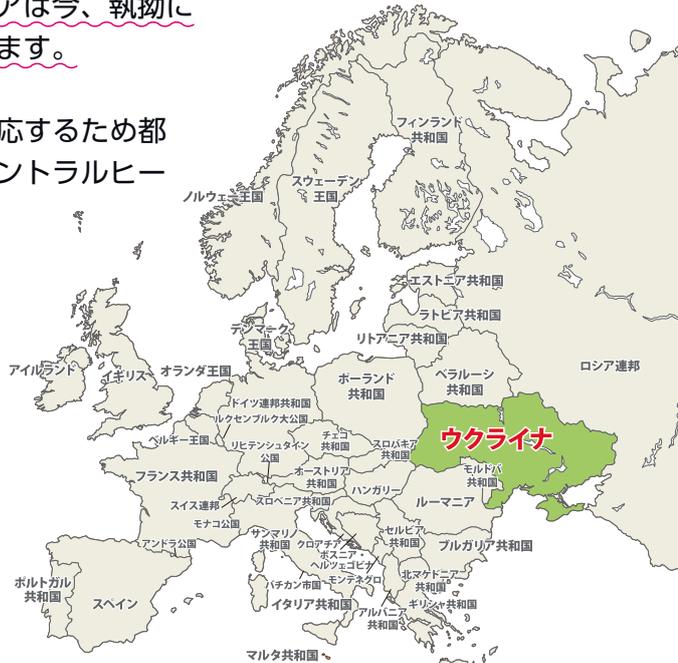
ウクライナの今はどうでしょう。ロシアは今、執拗にウクライナの電力施設の攻撃を続けています。

何故…

東欧から北の地域は、厳しい寒さに対応するため都市部の住宅地は天然ガスを燃料とするセントラルヒーティング設備で暖房を取っている所が多く、一般家庭も電気式の暖房器具がほとんど。電源施設が消失すれば、一気に暖房が止まってしまうのです。北海道同様といわれる寒さの中どのように生活しているのか。何の罪もない一般市民のことを思うと、心が張り裂けそうです。冬はまだ長く続くのです

今、世界各国が防寒対策の支援を行っています。欧州委員会は大型の発電機を。アメリカは発電機に加えヒーター、防寒着を。日本も発電機や暖房機材等の支援を行っています。行ってはいますが、それで賄えるとは到底思えません。

明かりも暖房も奪われた生活がどんなに厳しいものか、戦争のもう一つの残忍さを改めて思い知らされています。



後書き

「一富士、二鷹、三茄子」。さて、皆さんは今年、どのような初夢を見たのだろうか。

夢の中の体験とは、実に奇想天外で不思議なものである。睡眠時の夢については、睡眠学でもあまりにも分かっていないことが多いらしい。

私は、人生で何度か夢の中で「これは夢に違いない」と気付いた経験がある。朝方二度寝した後に夢と自覚して夢の続きを見たこともある。実に不思議な体験だった。後から知ったのだけれども、この様な夢を「明晰夢」(めいせきむ)という。

この問題、突きつめると、果たして現実とは「現実」なのか、はたまた現実が「夢」で夢が「現実」なのか、決定的には区別がつかなくなってしまう。漢文の授業で習った中国の思想家、荘子の書物「胡蝶の夢」を思い出す。荘子が蝶になった夢を見ているのか、蝶が荘子になった夢を見ているのか、「現実」と「夢」の境界が揺らぐのだ。

考えてみれば、現在の情報技術の発展は、物理的実体を離れ、電子マネーや仮想通貨取引、果てはメタバースなど、私達を半ば「仮想現実」の住人として「夢」と「現実」を行き来する世界へと無防備のまま放り込んでいるようにも思える。なにが「真実か?」よりもなにを「真実と認識するか?」の違いが判断を分ける時代。万人にとって共通の「真実」はそもそもあるのだろうか?。思考はいつも堂々巡り。そんな「夢」の様な「現実」から醒める日は来るのだろうか。(佐藤雅之)

議会広報 常任委員会

- | | | | |
|------|------|------|-----|
| 委員 | 委員 | 副委員長 | 委員長 |
| 齊藤光雄 | 早坂民奈 | 佐藤雅之 | 矢口智 |

